

府中市健康地域づくり審議会
第21回次世代創造分科会 報告書

- 1 日時：令和元年7月18日（木）18：00～19：30
- 2 場所：府中市役所2階 第一応接室
- 3 出席者：吉原 純（分科会会長） 板橋 千代美（分科会副会長）
山路 ヒロコ（分科会委員） 田中 幸夫（分科会委員）
門田 和也（分科会委員） 宗藤 正典（分科会委員）
河村 昌子（分科会委員）

4 概要

- (1) 開会
- (2) 分科会長あいさつ
- (3) 報告
- ① e.街いきいきフォーラムについて（6月23日開催）
- ② 保育料の無償化の実施について
- (4) 議事
- ① 第2期府中市子ども・子育て支援事業計画について
- ② 府中市子育て世代包括支援センターについて
- (5) 閉会

以下、主な質疑及び意見等

【報告①②】

質疑なし

【議事①②】 同時に進行

意見 働き方改革として企業においては従業員のパフォーマンスを上げて辞めずに働いてもらうことが大切。府中市外在住だが市内企業に勤務する人の子どもを預かる場所があってもいいのではないかと。

意見 親は子どもを近いところに置いておきたいと思うものだと思う。

意見 市外在住者でなおかつ市内在勤者の子どもを預かる受け皿があったら働きに来る人が増え、子育て支援が強いという一つの武器になる。

意見 市外からの受入れができるようになれば、働きに来る人も増え、ひいては定

住を考えるようになると思う。

意見 地域で何社かが連携して受け皿をつくり、そこへ保育士を派遣するとかいうことも考えられる。

質問 働き方改革について企業が行政に望むサポートとは一体どんなことか。

意見 働き方改革についての専門家派遣のサポートがあるといい。

意見 市外在住者の保育所受け入れに関しては、市外の人のためにお金を使っているとネガティブな方向に見えないよう、見え方については工夫が必要。働き方改革については、府中市での成功例を「府中モデル」のような形で明示できるといいのではないか。府中市は女性の就労率が高い。社会に出ている女性をどう上手く取り込んで働き方改革にもっていくかというところが重要だと思う。

意見 出産後、家族や知り合いが近くにいてくれたらよいが、お嫁に来られた方は家から出ることは大変勇気がいること。お嫁に来られた方をどうフォローするのが大切だと思う。また、母親が働きに出ることで子どもと親のコミュニケーションの時間が減っている。子育ては女性だけがする時代ではなくなってきたが、親として子どもときちんと時間がとれるということは大切なこと。

(5) 閉会 分科会副会長あいさつ